

円蔵自治会だより

合 い 言 葉
みんなWA (輪・話・和)
になるなかよし円蔵

毎 日 の
あいさつ運動
展 開 中

平成30年
2月1日
(第71号)

発行責任者
円蔵自治会長小室正明
TEL・FAX 82-9095

1月定例組長会議報告 (主なもの)

1. 新役員選出進捗状況の件
2. 移動式ホース放水訓練の件
3. 防災倉庫備品台帳確認の件
4. 来年度展望の件



2月の予定 (主なもの)

4日(日) 2月組長会議	10:00
12日(月) 2月事務局会議①	9:00
16日(金) 特別会費集金① 事務局対応	
17日(土) 特別会費集金② 事務局対応	
22日(木) 円蔵サロン(40)	9:00
27日(火) 2月事務局会議②	9:00

『第40回円蔵サロン』のご案内

1. 期 日 2月22日(木)
2. 時 間 午前9時から12時まで
3. 場 所 円蔵自治会館(1・2階)
4. 対 象 老若男女(どなたでも)

●お茶等は準備します。参加費1人100円。

平成29年度新設防犯灯の設置について

*事前に、防犯灯新設希望者⇨班長⇨組長⇨事務局と要請がありました箇所を、事務局で集約し、担当の安全対策課へ提出しました。

*その結果、次のとおり新設が決定しました。安全・安心まちづくりのため、確認ください。

*この件は、今後も継続されます。来年度の新設要望箇所等にも、ご注意ください。。

①円蔵 2267 (上町2組) ⇨LEDで対応

②円蔵 2-9-35 (鶴田1組) ⇨LEDで対応

*円蔵からの『2要望箇所』すべて決定です。

民生委員児童委員(円蔵関係)紹介

*『常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行う』ことを役割とし、厚生労働大臣から委嘱された、円蔵関係7名の『民生委員児童委員』をご紹介します。秘密厳守!

氏 名	電 話	担 当地 区
岩 崎 孝 子	82-1045	上 町 1・2 組
茂 木 由 美 子	57-3503	陽 ざ し 野 ・ 下 町
小 倉 徹	83-1836	南 町 1・2 組
三 浦 太 郎	86-4025	辻 町
岸 本 茂 子	86-5795	鶴 田 1 組
小 川 三 枝 子	85-8446	鶴 田 2・4 組
三 浦 常 生	52-7873	鶴 田 3 組

第80回高南一周駅伝競走大会/『鶴嶺』円蔵関係選手大健闘!!

*県下最古・日本で2番(箱根駅伝の次)の歴史伝統ある駅伝です。昭和14年に始まった『高座郡の南部(茅ヶ崎の昔の呼称)を一周する駅伝』が、大会名の由来でもあります。

*円蔵からも、小学生から大人まで多くのメンバーが出場しました。男子1部地区対抗では、2区鈴木公大・3区鈴木大海、4区鈴木亮太選手の大活躍で準優勝いたしました。女子1部地区対抗でも中学生の頑張りがあり、第3位になりました。来年こそ優勝目指して!

*閉会式では、小室誠一選手が50回連続出場として、また、小室ファミリーが5兄弟・3世代・16人・165回出場として、80回大会記念特別表彰されました。まさに継続は力なりであります。

*円蔵祭囃子・地元応援の皆さん、寒い中ありがとうございました。広報と先導審判を兼ねた小室会長からも、厚くお礼申し上げます。

防災格言(いのちを守る百の戒め) 防災アドバイザー-山村武彦先生

(50)地震時は、
守れ! 頭部と頸動脈

(50)地震時は落下物から身を守れというが、特に守るべきは頭部と頸動脈である。座布団やカバンで守れ。失血死が一番怖い。

(51)地震時は、道路や
車に近付くな!

(51)地震発生時、車は暴走する可能性がある。事例は多々ある。歩行者は地震直後、道路に近付かないほうが安全である。

(52)緊急地震速報、
見たり聞いたりした時は
机の下より広い場所

(52)海底地震であれば、緊急地震速報で被害軽減が期待できる。この速報を見たり聞いたりしたら、最悪に備えて、行動することが大切である。その時その場での「安全ゾーン」へである。

防災に関して、こんな質問がよくあります。

Q 災害時、円蔵の人はどこが避難場所ですか?

A 先ず、避難所とは、『自宅が被災して住めない場合に避難する場所』であることを理解してください。

具体的には、円蔵小・中、鶴が台小・中、浜之郷小・鶴嶺中含め、市内の公立小・中学校が1次避難所です。どこでも避難は可です。

Q 避難経路は、どうなっていますか?

A その時・その場所での、自己判断にならざるを得ません。予想される避難所への経路を、平常時に確認しておきましょう。

Q 大災害時の火事等の通報(消防署等)は、誰がやるのですか?

A 当該・近所からの通報が原則です。一刻も早いことが必須です。円蔵自主防災会は情報収集してからの通報です。1~2時間後です。通信不可時の対応(自転車等)も、家族で確認しておきましょう。

*平常時からの火事対応(感震ブレーカー、火災報知器設置)や家具転倒防止策・非常食確保等も大切です。生命・財産の保持は、自己責任といわれています。公助への期待はむずかしい!